

# みんな逃げられない

武本 成十（県農業共済連職員 OB）

地球温暖化防止、この人類史上最大の課題に世界をあげて取り組もうとしている。地球の歴史を遡ってみると、温暖化と寒冷化は何度も繰り返されてきた。太陽活動によるものもあるが、最大の原因は、大気中の二酸化炭素濃度にある。地球生命史上最大の温暖化事件は2億5千万年前に起こり、地球生物種の95%が絶滅したといわれる。古生代後期のペルム紀末、巨大マントルの上昇流による大規模な火山活動で大量の二酸化炭素が大気中に放出された。それによる温室効果で気温が上昇。地球上の氷はすべて溶け、海面上昇のみならず海水温も上昇し、深海にあるメタンハイドレート（メタンガスの氷で、今でも深海に大量に存在）が大量に気化、温室効果が加速、さらに大気中に放出されたメタンと酸素が化学反応を起こして、それまで30%であった酸素濃度が16%まで低下した。この低酸素状態は、その後2千万年間続き、地球上から逃れることができなかつた我々のご先祖様の仲間はことごとく窒息死してしまったのである。

現在の地球温暖化で一番問題となるのは、気象変動もあるが、海面の上昇である。過去に海面は120mくらいの幅で上下していたと言われている。現在グリーンランドの永久凍土がすべて溶けると海面が6m上昇し、南極の氷だと60m上昇。60mも上昇すると人類が築いた文明の殆どが水没してしまう。万物の霊長といわれる人間も、この地球上から逃れることはできない。既に地球上のあらゆる場所でその兆しが現れている。滅びの宴は始まっているのである。

カウコンフォートが叫ばれている。ホルスタイン種をみると、ここ10年でずいぶ

ん変わった。濃い牛乳を毎年1万キロも生産する。ホルスタイン種の体重は約650キロもあるが、毎年自分の体重の15倍もの牛乳を生産させられている。年中無休で重労働をさせられているに等しい。圃場と牛舎は10年前と変わっていないが、牛は、猛烈働き牛に変わったしまった。

生物は急激な環境変化に対応できない。搾乳牛の場合は逆で、急激な牛の変化に環境が対応できていない。どちらも、結果は同じである。

先般、鏡野町で酪農（フリーストールで搾乳牛55頭、育成牛38頭）をやっている倉永卓さんを訪ねてみた。倉永さんが言うには「今の牛は、1万キロ以上出す能力をみんな持つとる。能力をどうやって引き出すかじゃ」

「前に飼っていた所より標高が200mくらい上がったんで夏でも結構涼しい」確かに涼しい。なのに、大型扇風機がいくつも回っている。「水もきれい。大きな水槽で掛け流しで、乳を搾った後なんか、よう飲む」大きな水槽にきれいな水が常時流れている。このような物理的環境改善はもちろんだが、牛と畜主との信頼関係が大切と言う。「搾乳後、直ぐに牛を寝させるなどと言うが、寝たい牛は寝させとる」「わしゃ、牛を追わんことにしとる。牛のペースに合わせて仕事をするようにしとるんじゃ。」牛の群れの中に直接フロントローダーを入れて作業する。牛が前に居たら牛がよけるまで待つ。決して追わない。「特に、搾乳室に入る時に追うと2キロは減る。」「1頭当たり2キロだから大きいよ〜」50頭で朝夕だから・・・確かに大きい。望まない重労働をさせられても、牛は牛舎から逃げることができない。

物理的環境に加え、メンタルケアがあれば平均乳量1万キロでも牛は減ばない。

家庭内暴力・家庭崩壊、嫌な言葉である。家庭にとって、特に子供たちにとって、家庭は心休まる、安住の地でなければならな

い。子供は家庭から逃げられない。私たちオヤジも女房から逃げられない。

地球も牛も家庭も夫婦も常に物心両面、メンテナンスしていかないと、放置しておくと必ず自滅の道を歩む。

## 堆肥利用を推進しよう！

### ～岡山県畜産堆肥マップの紹介～

(社)岡山県畜産協会 経営指導部

世界的な肥料需要の増大、海上輸送運賃の高騰等が原因で、肥料原料の国際価格は昨年から大幅に上昇しています。このため、今後、施肥コストの抑制対策として、耕種農家による堆肥需要の増加が考えられます。

以前から、当協会では耕種農家に対する堆肥のPRの手段として、おかやま畜産ひろば (<http://okayama.lin.go.jp/>) 内に「岡山県畜産堆肥マップ」を掲載しています。堆肥マップは、おかやま畜産ひろばトップページの「岡山県畜産堆肥マップ (バナー)」をクリックすると、利用できます。堆肥マップには、掲載申請をした堆肥生産者ごとに、連絡先、販売価格、配達の有無、配達料金、成分分析値等の情報を掲載しております。

今後、耕種農家による堆肥のより一層の利用推進を図るため、堆肥マップの情報拡充に取り組むことにしていますので、これから堆肥情報の掲載を希望される方または堆肥情報の変更・削除を希望される方は、ホームページに掲載している申請書をダウンロードして必要事項を記載の上、当協会に送付して下さい。

なお、堆肥散布を請け負う組織、集団等についての情報も今後掲載する予定にしています。

#### 畜産関係団体・関係機関の方へのお願い

堆肥マップの活用推進のため、堆肥生産者の情報掲載、情報更新にご協力をお願い致します。また、耕種農家の堆肥利用推進のため、耕種農家側に堆肥マップのご紹介をお願い致します。その他、ご意見がありましたら、当協会までご連絡をお願い致します。

(社)岡山県畜産協会 経営指導部

〒700-0826 岡山市磨屋町 9-18 岡山県農業会館 5階

電話 086-222-8575 FAX086-234-6031